

主題	改修工事による入浴介助、生活環境の見直し		
副題	～快適な入浴、生活環境を提供する為に～		
ケアの質の向上		リスクマネジメント	
研究期間	12ヶ月	事業所	特別養護老人ホーム 西が丘園
発表者：松林 妙子 まつばやし たえこ		アドバイザー：	
共同研究者：施設全職員			
電 話	03-5924-7711	メール	n-2w@busonkai.or.jp
FAX	03-5924-7712	URL	http://www.busonkai.or.jp/

今回発表の事業所やサービスの紹介	特別養護老人ホーム西が丘園は、都内には珍しく緑の多い平静な場所にあります。春には染井吉野のトンネルや、山桜などの街路樹が玄関前を飾ります。西が丘園では「自然の温もり」「生きる喜び」を基本方針とし、通所介護・短期入所・訪問介護・居宅介護支援事業・在宅介護支援センター等の事業を施設介護と同様に積極的に取り組み、地域に根差した施設づくりを目指しております。
------------------	--

《1. 研究前の状況と課題》

【状況】

- 開設から約14年が経ち、地下2階にある浴室を中心に、施設のいたる所に劣化が目立つ様になった。浴室、空調等の改修工事を実施、ご利用者に合わせた快適な入浴、生活環境を提供することを目的とする。

【課題】

- 浴室が個別化されておらず、一般浴の脱衣、入浴共に集団で対応しなくてはならない。
- 個浴は存在するが、移乗動作のリスクが大きく、一般浴で入浴される方も機械浴にて対応せざるを得ない。
- 脱衣場から浴室への動線が長く、転倒のリスクが高い。
- 空調が全館集中制御の為、ご利用者ごとに合わせた設定が困難である。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

【目標】

- ご利用者の生活レベルに合わせた形態で入浴介助を実施する。
- 集団入浴から個別入浴に変更することで、個々の要望、プライバシーが配慮され、快適な入浴環境が提供されている。
- 空調を全館集中制御から場所ごとに対応出来る様、より細分化を図ることで、快適な生活空間を構築する。

【成果・目的】

- ご利用者の要望に合わせた形態での入浴介助が実施出来ている。
- 機械浴から個浴へ入浴形態を変更することで、ご利用の生活レベルの維持、向上が図られている。
- 空調整備を図ることで、個々にあわせた生活空間が提供出来ている。

《3. 具体的な取り組みの内容》

- 浴室が広く、集団入浴を余儀なくされていた。また空調に関しても老朽化に伴い、メンテナンスを頻回に行わなくてはならない環境にあった。改修工事を実施することで、浴室を中心とした施設の劣化、環境の改善を図り、ご利用者に合わせた快適な入浴環境、生活空間の提供を実施する。
- 対象者は特養ご利用者全員とする。
- ショートステイご利用者に対しても入浴形態の見直しを随時検討する。
- 期間は工事終了後の平成24年4月～とする。
- サービスマナー委員会を中心に入浴形態の変更、マニュアルについての見直しを実施する。
- 入浴時のリスクについては役職者を中心に検討、必要時は事故防止対策委員会と連携して対応をする。
- 入浴形態変更時は他部署と連携を取り、リスク等を検討、了承を得た上で実施する。

《4. 取り組みの結果と考察》

- ご利用者の生活レベルに合わせた形態での入浴介助が実施出来ている。
- 機械浴から個浴へ入浴形態を変更、生活レベルの向上が図れている。
- 個々のプライバシーが配慮され、快適な入浴環境が提供されている。
- 個別で対応することにより、1人に対する時間が多く取られてしまう。
- 脱衣場から浴室への動線が短くなることで、転倒のリスクが軽減された。
- 空調整備を図ることで、個々にあわせた生活空間の構築が可能となった。

《5. まとめ、結論》

- 工事が終了してから、約半年間が経過し、徐々に職員の対応についても円滑化がなされてきている。しかし入浴介助がより個別化されたことで、時間が多く取られてしまう部分も見られている。浴室が地下2階にあり、生活空間からの動線が長いことで、誘導の方法等において見直しが必要となってくる。今後ご利用者のニーズを踏まえ、より良い入浴介助、環境の整備に努めていかななくてはならない。

※ 本研究において、情報は厳重に管理し、研究の目的以外には一切の使用を致しません。また掲載、発表にあたり、個人情報を使用する場合は、ご家族、ご利用者に同意を得た上で実施致しております。

《8. 提案と発信》

重度者への対応が求められる現状において、職員一人ひとりがケアの主たる担い手は自分達であることを強く認識し、介護サービスの質と専門性を高め、基本ケアである食事・水分・排泄・入浴と認知症ケアを徹底し、ケアの標準化を図っていかなくてはならない事を本研究を通じて改めて痛感した。

【メモ欄】